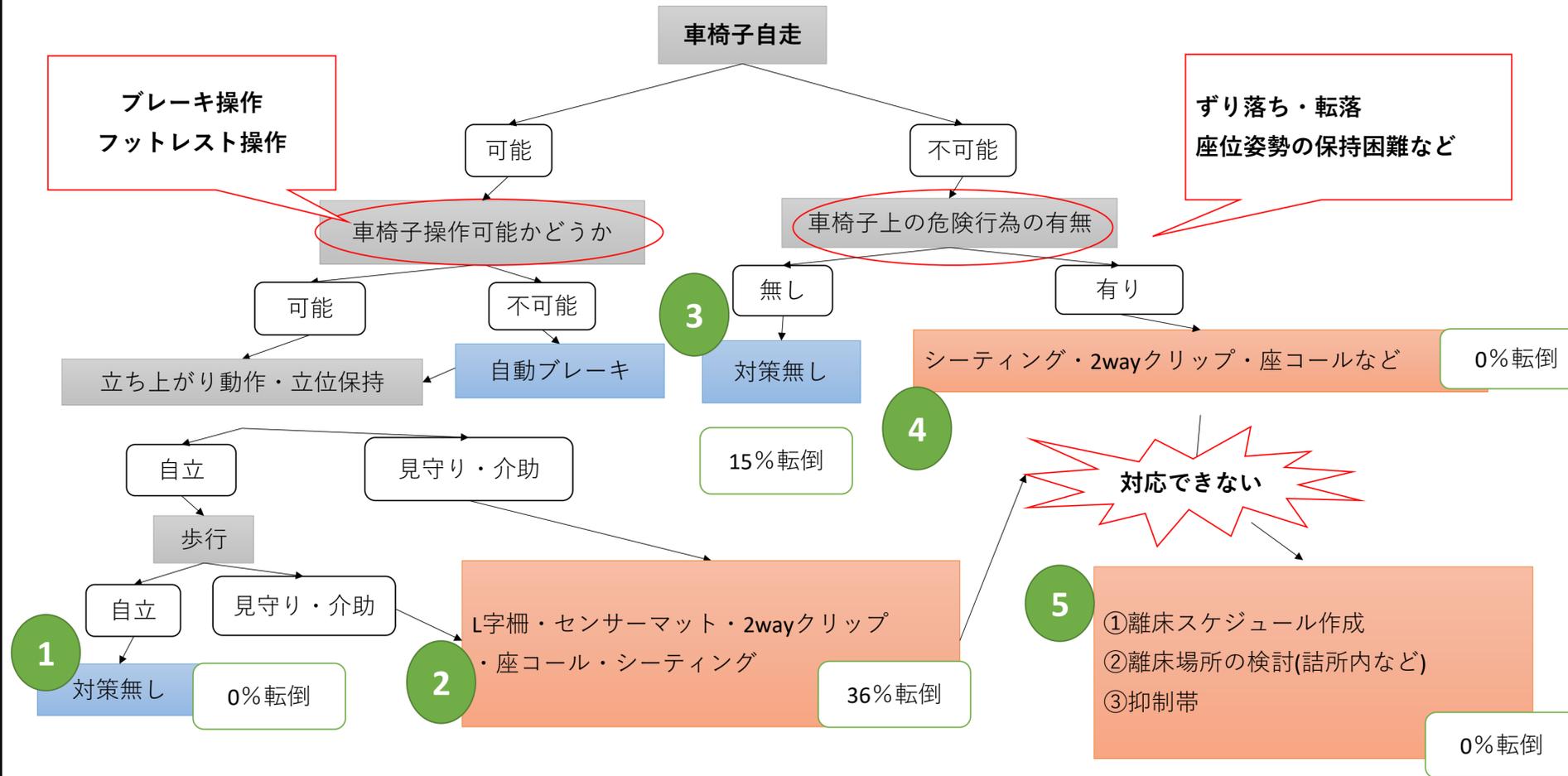


車椅子座位時の転倒対策：スタッフを呼ばない、呼ばないと仮定

的中率 81% 入退院患者42名から集計



〈転倒対策機器の使用方法〉

座コール：座面に敷くことで臀部が離れた際に音が鳴る。
座面に対し縦に置く。反応時間の調節（例：座面から離れて～秒後に鳴る）。圧が掛かった際に鳴るように設定も可能。鳴る音については数種類あり、変更可能。

センサーマット：床に敷き、マット上に乗るとコールが鳴る。
反応時間の調整可能。敷く場所により、自室から出ようとする時鳴るorベッドから起きると鳴るなど患者の状態に合わせて使用できる。

2wayクリップ：クリップが外れるとコールがなる。ベッド、車いす共用で使用でき、車いすの際には音が鳴る。
例) 立ちあがる患者に対し、離殿時で鳴る事では間に合わない患者に使用する

クリップセンサー：クリップが外れるとコールがなる。ベッドサイドでのみ使用可能。
例) 患者の起居方法により上肢や下肢など装着する場所は検討必要。